

2025年11月17日

各 位

会社名 成友興業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 細沼順人  
(コード番号9170 名証メイン市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員  
管理本部長 齊藤衛  
(TEL. 03-3538-4111)

### 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年9月期から2028年9月期までの3ヶ年中期経営計画について策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

#### 1. 対象期間

2026年9月期から2028年9月期までの3ヵ年

#### 2. 中期経営計画における重点施策

当社の主要セグメント別の重点施策については、以下の通りです。

- ① 環境事業においては、平均受入処理単価の上昇により売上高の増加を図るとともに、外注費等削減による売上原価を低減します。さらに、新規で建設発生土の最終処分事業を開始します。
- ② 建設事業においては、建設工事現場を支える施工管理技術者の人材不足が深刻化している中で、新卒採用を年間30名程度の規模にまで拡大します。また、受注活動については、共同企業体（JV工事）も含め、工事期間が長期にわたる大規模な官庁工事にシフトし、受注高の拡大を図ります。
- ③ 環境エンジニアリング事業においては、土壤汚染対策工事の元請工事を受注するとともに、工法の多角化に取り組みます。

#### 3. 経営数値目標

(単位：百万円)

	2025年9月期 (実績)	2026年9月期 (計画)	2027年9月期 (計画)	2028年9月期 (計画)
売上高	15,308	17,835	18,903	20,213
営業利益	1,141	1,234	1,427	1,727
経常利益	1,025	1,107	1,300	1,600
親会社に帰属する 当期純利益	603	658	781	965

(注) 本資料の業績目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

# 成友興業グループ

3カ年中期経営計画  
(2026年9月期～2028年9月期)

成友興業株式会社

証券コード 9170

2025年11月17日

・ 今期予算と3年間の利益計画	・ ・ ・ 2
・ 環境事業について	・ ・ ・ 5
・ 建設事業について	・ ・ ・ 10
・ 環境エンジニアリング事業について	・ ・ ・ 18
・ 成友セキュリティについて	・ ・ ・ 20

## 成友興業グループで早期に売上高200億円を目指す

	中期経営計画			
	今期予算			
	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
売上高	15,308百万円	17,835百万円	18,903百万円	20,213百万円
営業利益	1,141百万円	1,234百万円	1,427百万円	1,727百万円
経常利益	1,025百万円	1,107百万円	1,300百万円	1,600百万円
当期利益	603百万円	658百万円	781百万円	965百万円

# 今後3年間の利益計画の内訳について（事業部別子会社別）

**SEIYUKOGYO**

次世代のために、社会に資する。

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2025年9月期 (51期)	2026年9月期 (52期)	増減率	2027年9月期 (53期)	増減率	2028年9月期 (54期)	増減率
<b>連結売上</b>	<b>15,308</b>	<b>17,835</b>	<b>16.5%</b>	<b>18,903</b>	<b>6.0%</b>	<b>20,213</b>	<b>6.9%</b>
環境事業部	6,624	7,500	13.2%	7,800	4.0%	8,100	3.8%
建設事業部	4,817	5,674	17.8%	5,800	2.2%	6,000	3.4%
環境エンジニアリング事業部	653	750	15.4%	900	20.0%	1,200	33.3%
成友興業単体 売上合計	12,096	13,924	15.1%	14,500	4.1%	15,300	5.5%
成友エコプラスワン(株)	1,371	1,400	2.1%	1,421	1.5%	1,460	2.7%
成友マテリアルワン(株)	475	576	21.3%	600	4.2%	620	3.3%
木本建興(株)	924	1,100	19.0%	1,300	18.2%	1,500	15.4%
(株)武蔵野トランスポーティ	71	510	-	650	27.5%	800	23.1%
令友工業(株)	239	300	25.5%	400	33.3%	500	25.0%
成友セキュリティ(株)	494	523	5.9%	600	14.7%	730	21.7%
調整額	▲363	▲498	37.2%	▲569	14.3%	▲698	22.7%
<b>連結経常利益</b>	<b>1,025</b>	<b>1,107</b>	<b>8.0%</b>	<b>1,300</b>	<b>17.4%</b>	<b>1,600</b>	<b>23.1%</b>
成友興業(株)単体	840	840	0.0%	949	12.9%	1,168	23.1%
成友エコプラスワン(株)	162	160	▲1.2%	162	1.3%	189	16.7%
成友マテリアルワン(株)	154	200	29.9%	245	22.5%	260	6.1%
木本建興(株)	99	73	▲26.3%	86	17.8%	99	15.1%
(株)武蔵野トランスポーティ	▲17	28	-	42	50.0%	50	19.0%
令友工業(株)	17	20	17.6%	24	20.0%	33	37.5%
成友セキュリティ(株)	22	20	▲9.1%	26	30.0%	35	34.6%
調整額	▲252	▲234	▲7.1%	▲234	0.0%	▲234	0.0%
<b>親会社に帰属する当期純利益</b>	<b>603</b>	<b>658</b>	<b>9.1%</b>	<b>781</b>	<b>18.6%</b>	<b>965</b>	<b>23.5%</b>

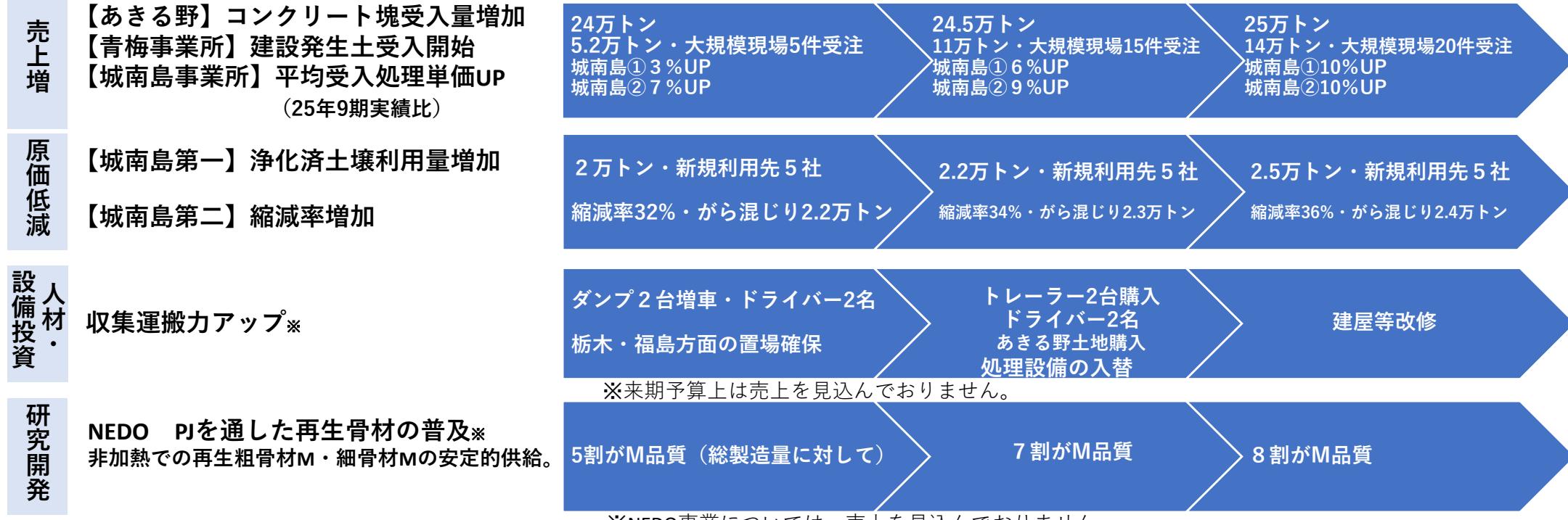
・ 今期予算と3年間の利益計画	・ ・ ・ 2
・ <b>環境事業について</b>	・ ・ ・ 5
・ 建設事業について	・ ・ ・ 10
・ 環境エンジニアリング事業について	・ ・ ・ 18
・ 成友セキュリティについて	・ ・ ・ 20

- 成友興業は、2026年9月期に建設発生土の処分事業を開始
- 成友エコプラスワンは、中期的には、第二工場を新設することで、これまで外注していた二次処理を内製化
- 成友マテリアルワンは、受入量15万トンを目指し、収集運搬の増強および北関東（群馬・栃木）や福島に置場を確保

□中期経営計画		単位：百万円	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
□今期予算					
成友興業の 環境事業	売上		7,500	7,800	8,100
	売上総利益		1,300	1,440	1,661
成友エコプラスワン	売上		1,400	1,421	1,460
	経常利益		160	162	189
成友マテリアルワン	売上		576	600	620
	経常利益		200	245	260

## 3年間で売上高81億円、売上総利益16億円を目指す

□中期経営計画 □今期予算	単位：百万円	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
成友興業 環境事業	売上	7,500	7,800	8,100
	売上総利益	1,300	1,440	1,661



## 売上高14億6千万円、経常利益1億9千万円を目指す

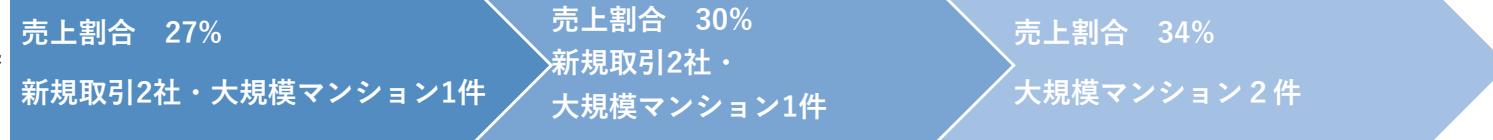
中期経営計画  
今期予算  
単位：百万円

	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
売上高	1,400	1,421	1,460
経常利益	160	162	189

年間のれん償却額 44,528千円

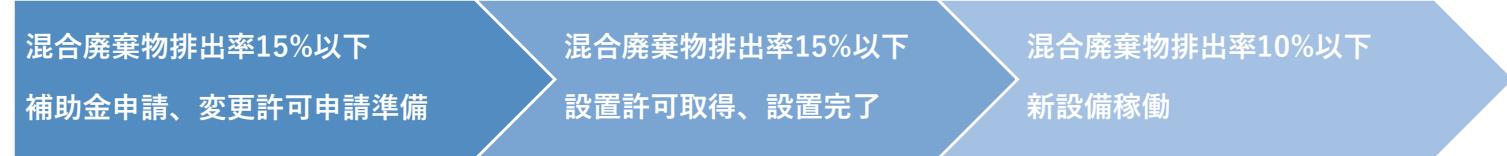
## 売上増

顧客層を大手・中堅ゼネコンに入替



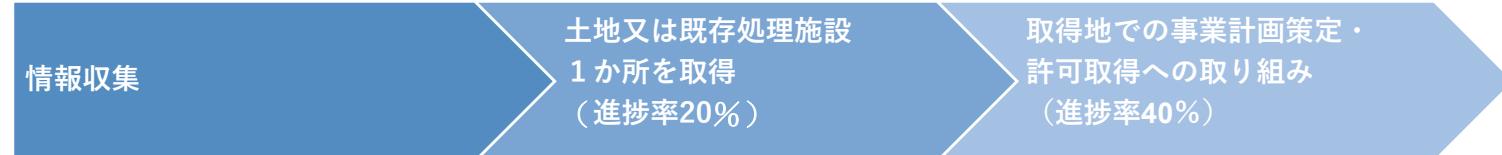
## 原価低減

混合廃棄物の排出率を低減する  
精選機の導入



## 設備投資

置場や新工場の取得



## 人材

グループ一括採用による出向



コンクリート塊受入15万トン、売上高6億2千万円、経常利益2億6千万円を目指す  
スーパーゼネコンにシフトし、自社収集運搬力のアップ

□中期経営計画 □今期予算	単位：百万円	2025年7月期	2026年7月期	2027年7月期	2028年7月期
成友マテリア ルワン ※7月決算	売上	475	576	600	620
	経常利益	154	200	245	260
	受入量（トン）	107,000	140,000	145,000	150,000

年間のれん償却額 117,078千円

2026年7月期

受入量14万トン  
スーパーゼネコンを全体の35%  
群馬・栃木・福島方面の置場確保  
人員体制および組織の見直し・確立

2027年7月期

受入量14.5万トン  
スーパーゼネコンを全体の40%  
エコアクション21の取得

2028年7月期

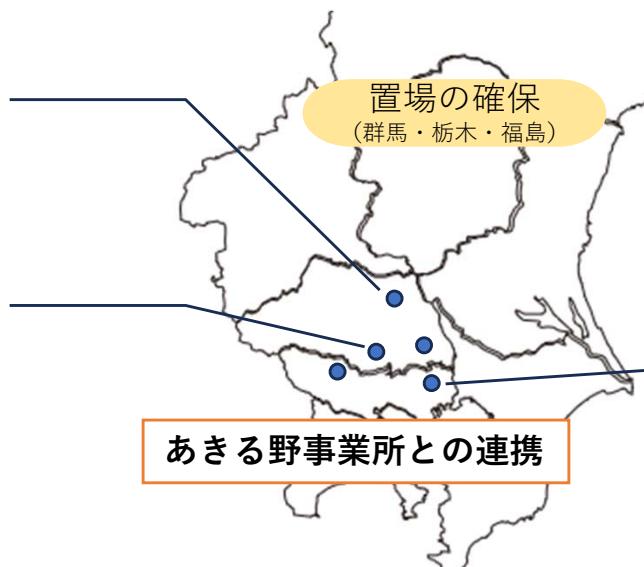
受入量15万トン  
スーパーゼネコンを全体の45%

## 【白岡センター】

- 一般貨物自動車運送業の取得
- 営業所の設置
- 車両7台体制

## 【川口工場】

- 顧客をゼネコン等の元請にシフト
- 処理能力の（軽微）変更  
(キャパシティ拡大)



置場の確保  
(群馬・栃木・福島)

## 【本社】

エコアクション21の取得



あきる野事業所との連携

・ 今期予算と3年間の利益計画	・ ・ ・ 2
・ 環境事業について	・ ・ ・ 5
<b>・ 建設事業について</b>	<b>・ ・ ・ 10</b>
・ 環境エンジニアリング事業について	・ ・ ・ 18
・ 成友セキュリティについて	・ ・ ・ 20

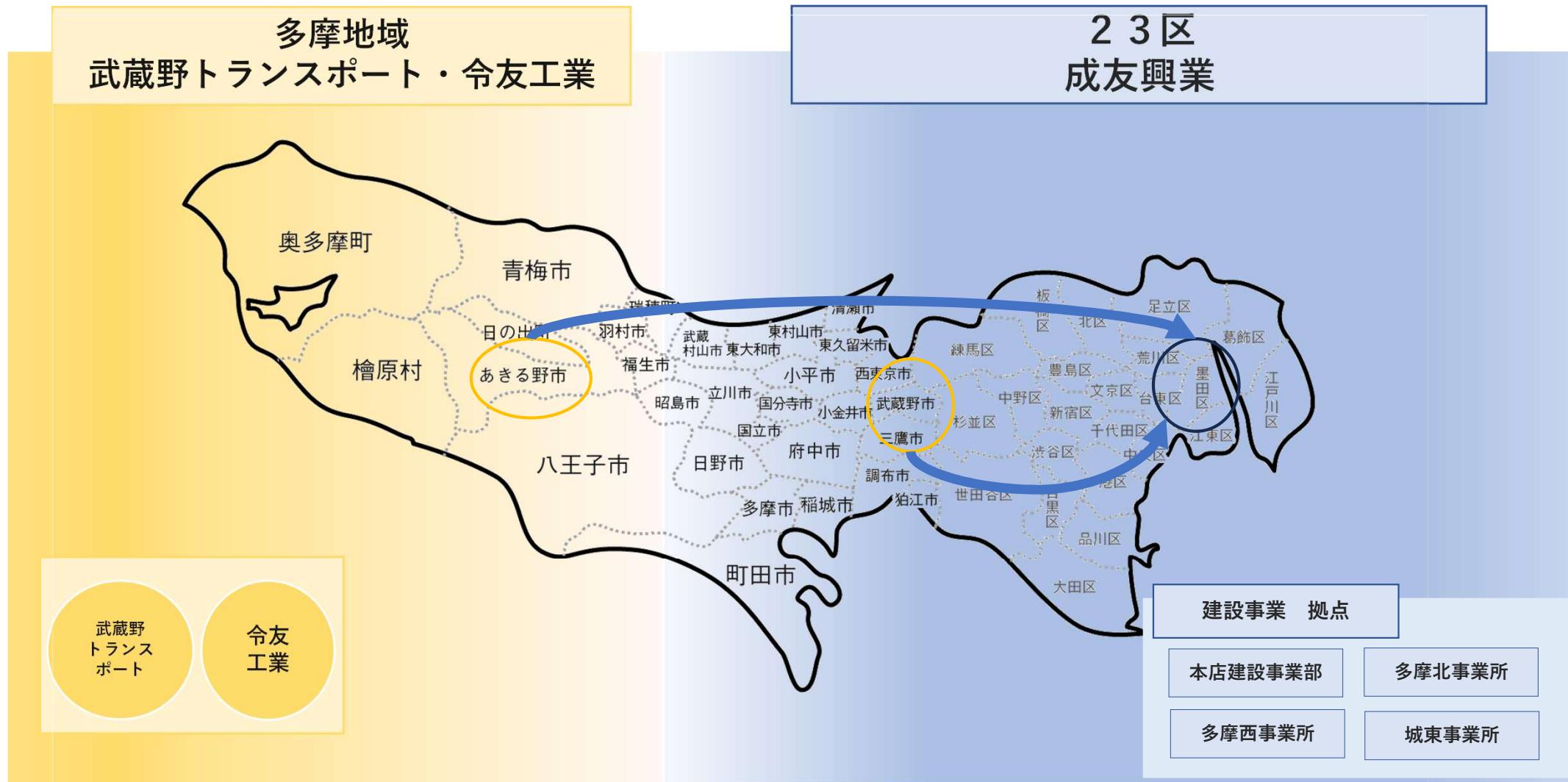
- 成友興業は、工事の大型化及び工種の多角化
- 若手技術者の資格取得
- 木本建興は、技術者の確保及び育成
- グループ間での在籍出向や転籍、技術交流を活発化

□中期経営計画 □今期予算		2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
		単位：百万円			
成友興業(株) 建設事業部	売上	4,817	5,674	5,800	6,000
	売上総利益	539	625	628	660
木本建興(株) ※6月決算	売上	924	1,100	1,300	1,500
	経常利益	99	73	86	99
(株)武蔵野トラン スポーツ ※7月	売上	473	510	650	800
	経常利益	36	28	42	50
令友工業(株)	売上	239	300	400	500
	経常利益	17	20	24	33

※木本建興の2025年9月期は、2025年6月期実績。

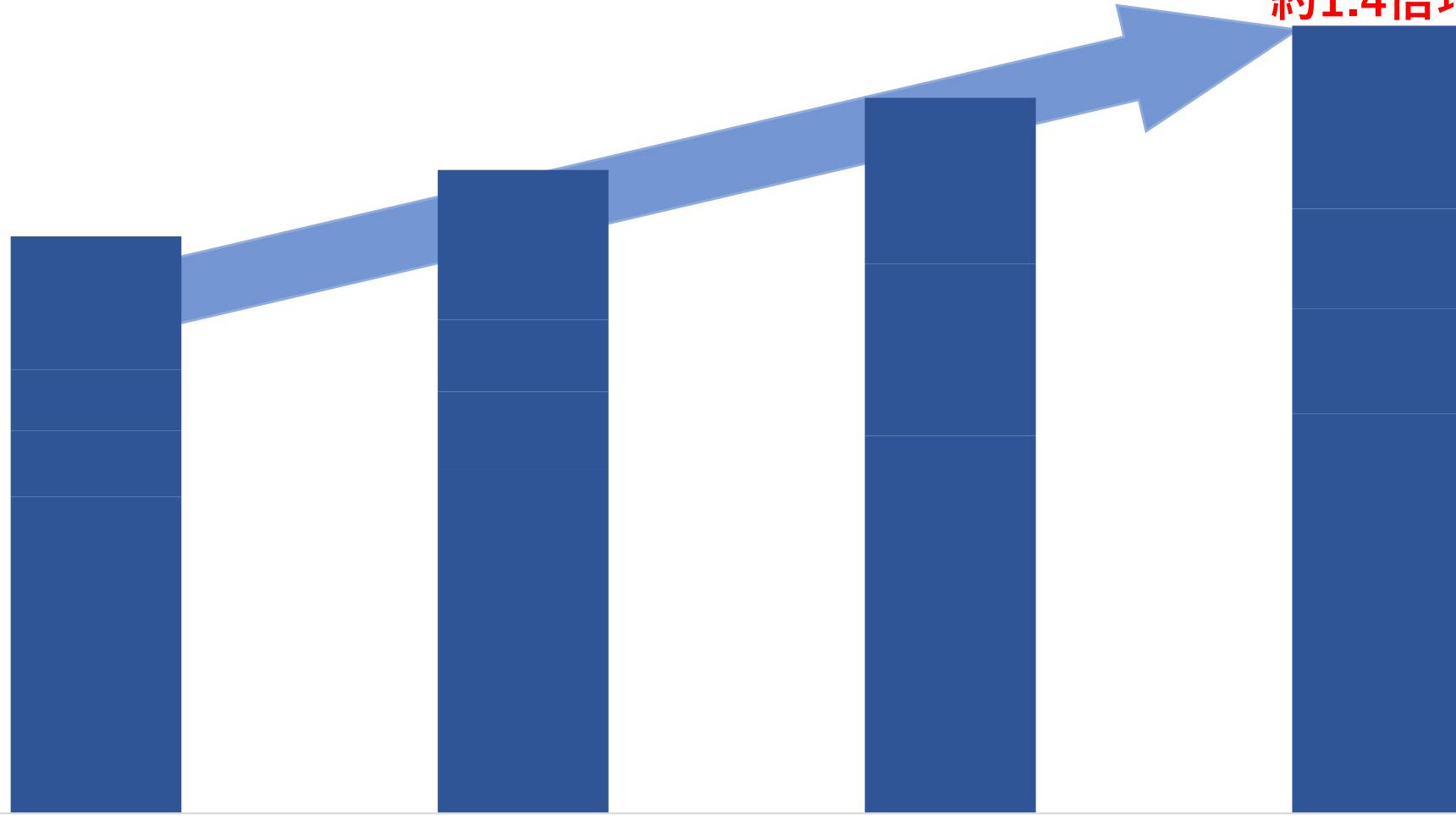
※武蔵野トランスポーツの2025年9月期は、2025年7月期実績。

## 建設事業部の拠点を集約 受注・施工・教育体制を見直し、生産性の向上を図る



## グループ全体で技術者の資格取得及び増員を図る

建設事業に従事する技術者数の推移

**技術者数  
約1.4倍増**

## 工事の大型化（5億円以上）及び工種の多角化（水道・河川・下水）を図る

□中期経営計画 □今期予算		単位：百万円	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
建設事業	売上		4,817	5,674	5,800	6,000
	売上総利益		539	625	628	660

## 工事の大型化及び工種の多角化

2025年9月末時点 実績

請負金額  
竣工予定  
現場名  
水道施設工事  
252百万円(税込)  
2026年12月  
八王子水道

請負金額  
竣工  
現場名  
下水道工事  
643百万円(税込)  
2025年9月  
瑞穂町シールドJV

請負金額  
竣工予定  
現場名  
河川工事  
82百万円（税込）  
2026年5月  
谷地川護岸復旧

■ 発注数・規模の大きい水道工事・下水道工事・河川工事の3工種について施工実績を積み上げる  
ランクアップイメージ

八王子水道工事 竣工後もBランクのまま

東京都水道施設工事

B ランク

A

Aランクへアップするために  
必要な最高完成工事高

350,000千円以上  
※割増係数を考慮すると税込270,000千円以上

東京都下水道工事

B

A

2～3億円規模の大型下水道工事・管更生工事を受注

東京都河川工事

C

2億円規模の河川工事を受注・竣工

B

谷地川護岸復旧工事 竣工後もCランクのまま

Bランクへアップするために必要な最高完成工事高

160,000千円以上 350,000千円未満  
※割増係数を考慮すると税込124,000千円以上

経営事項審査（P点）1,300点獲得に向けて

2024年9月期 経営事項審査P点 実績

一般土木 1,212点

1,260点

1,280点

1,300点

# 2028年6月期に売上高15億円を達成

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2025年6月期	2026年6月期	2027年6月期	2028年6月期
売上高	924	1,100	1,300	1,500
経常利益	99	73	86	99

年間のれん償却額 28,777千円

技術者の増員	受注活動	原価低減対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>2028年6月期までに合計で1級技術者を4名、2級技術者を3名増員</li> <li>各技術者は同一発注者受注を固定化</li> <li>総合評価点数の底上げ</li> <li>現場実務の効率化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注件数増に対応するための積算能力の向上</li> <li>2028年6月期には年間12本を受注</li> <li>多摩支店の移転 (成友興業本社の一部を間借り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都水道局案件で外注費が増加傾向</li> <li>直営労務1班</li> <li>協力業者を2社</li> <li>外注先の新規開拓</li> <li>実行予算粗利率18%を達成</li> </ul>

## 売上高及び技術者増員を見込んだ経営事項審査（P点）の推移

2024年6月期 経営事項審査P点 実績

一般土木 1,006点

※完工高は3年平均を採用

1,017点

1,033点

1,045点

## 早期に東京都財務局案件の受注体制を確立し、成友興業の23区移転を後押し 技術者の増員による若返りを図る

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2025年7月期	2026年7月期	2027年7月期	2028年7月期
売上	473	510	650	800
経常利益	36	28	42	50
年間のれん償却額				28,972千円

### 東京都財務局案件の受注に向けて

#### 受注イメージ

2025年9月末時点実績

東京都一般土木  
Aランク

東京都下水道  
Aランク

東京都道路舗装  
Bランク

東京都 実績づくりイメージ  
一般土木・道路舗装

希望制指名競争入札  
1件以上受注

総合評価入札  
1件以上受注

総合評価入札  
2件以上受注

工事成績点75点以上を獲得  
(東京都)

工事成績点75点以上を獲得  
(東京都)

工種の多角化への実績づくりイメージ

水道施設工事・河川工事

成友興業または木本建興の下請けとして施工実績を積む

実績獲得後、元請  
での受注を目指す

#### 経営事項審査(P点)及び入札ランクイメージ

2024年6月期  
経営事項審査P点 実績

943点

一般土木・下水道  
道路舗装

Aランクを維持

2027年4月にBランクへ戦略的に見直し、A～C等級で受注機会を拡大

Bランクを維持

# 東京都財務局案件の受注を目指す

<input type="checkbox"/> 中期経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 今期予算 単位：百万円	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
売上	239	300	400	500
経常利益	17	20	24	33

## 東京都財務局案件の受注に向けて

### 受注案件イメージ

#### 東京都一般土木

2025年9月末時点 実績

最高完成工事高  
50百万円(税込)  
※東京都電子調達システム参照

#### 東京都一般土木

請負金額 45百万円以上  
2件以上

請負金額 税込124百万円以上  
1件以上

請負金額  
税込124百万円以上  
3件以上

#### 市町村案件

2件受注

50百万円以上の案件  
2件以上

50百万円以上の案件  
2件以上

### 経営事項審査(P点)推移イメージ

2024年9月期  
経営事項審査P点 実績

735点

800点以上

900点以上

・ 今期予算と3年間の利益計画	・ ・ ・ 2
・ 環境事業について	・ ・ ・ 5
・ 建設事業について	・ ・ ・ 10
・ <b>環境エンジニアリング事業について</b>	・ ・ ・ 18
・ 成友セキュリティについて	・ ・ ・ 20

土壤汚染対策工事の多様な受注への取組「掘削除去・原位置浄化・解体除去工事等」を行い  
3年間で売上高15億円を目指す

□中期経営計画 □今期予算	単位：百万円	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
売上高		650	750	900	1,200
売上総利益		53	58	70	97

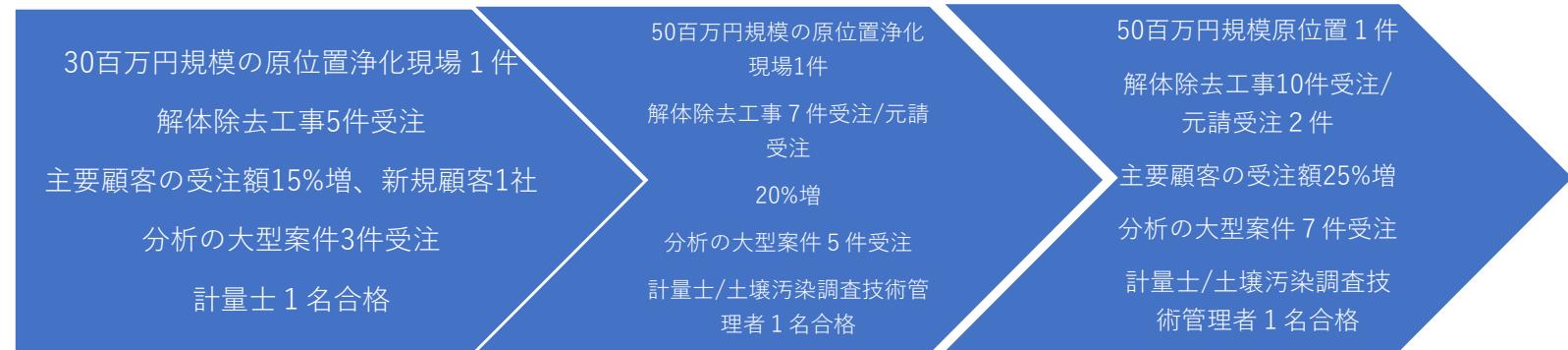
売上増

技術者の増強

工法の多角化

主要顧客の受注額アップ

分析センターの売上増加



・ 今期予算と3年間の利益計画	・ ・ ・ 2
・ 環境事業について	・ ・ ・ 5
・ 建設事業について	・ ・ ・ 10
・ 環境エンジニアリング事業について	・ ・ ・ 18
・ <b>成友セキュリティについて</b>	・ ・ ・ 20

## 隊員の質向上による平均単価増加、賃金上昇による隊員数増加により業績を改善する

□中期経営計画 □今期予算	単位：百万円	2025年9月期	2026年9月期	2027年9月期	2028年9月期
売上高		494	523	600	730
経常利益		22	20	26	35

### 施策

#### 1. 隊員教育

- ・“身だしなみ”“挨拶”“笑顔”“言葉遣い”“誘導技術・無線操作”を評価項目として現地教育による隊員の質の向上を図る。
- ・質の向上に伴い交通誘導2級資格者の増員を図る。

#### 2. 平均単価増加

- ・隊員の賃金向上分の原資確保のため、隊員の質の向上を理由とした単価向上を行う。

#### 3. 賃金上昇による隊員数増加

- ・平均単価向上による增收分を原資に賃金を上昇させ隊員数確保に努めるほか、フルタイムの安定した隊員確保のために、現場社員（契約社員）の採用を行う。

#### 4. 施設警備業務受注

- ・親会社からの紹介等を利用して、営業活動を行う他、人員確保に努め業務の多角化を推進する。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されており、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または默示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。また当社は、記載内容に重要な変動がある場合を除き、本資料の記述を修正する予定はありません。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、当社の有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。